

2017年3月9日  
東日本旅客鉄道株式会社  
八王子支社  
(株)JR中央ラインモール

## 鉄道設備（レール等）を活用した憩いのひろば『武蔵境ぽっぽ公園』を 武蔵野市と連携してオープン！

JR東日本グループでは、中央線の沿線価値向上を目指し三鷹～立川間において「緑×人×街 つながる」をコンセプトとした「中央ラインモールプロジェクト」を推進しています。

その一環として、武蔵境駅～東小金井駅間の「ののみち」において、4月8日（土）「武蔵境ぽっぽ公園」を開園いたします。

この公園は高架化前の中央線で実際に使われていたレールや信号機等の鉄道設備を活用した「憩いのひろば」と木製遊具などが設置された「遊びのひろば」が一体となったもので、JRと武蔵野市が協力して整備しました。

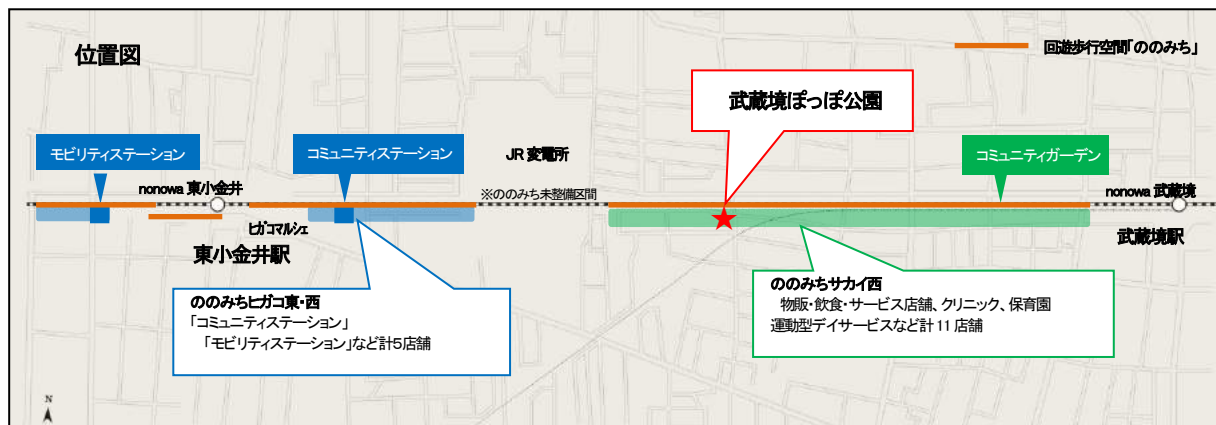
4月16日（日）には、開園を記念したイベントを開催いたします。

地域の多くの方々に愛し親しまれ、後世に残していける地域の資産になることを目指します。

### 1. 武蔵境ぽっぽ公園の概要

#### (1) 整備箇所

武蔵境駅と東小金井駅の駅間に位置します。



周辺は既に「店舗」「保育園」「クリニックモール」等が整備され、地域の皆さまの日常をサポートするエリアとなっており、中でもこの公園は多世代の方が交流することのできるコミュニティスペースとしての役割も期待し、武蔵野市と協力しながら検討を進めてきました。

【住所】 武蔵野市境南町4丁目3

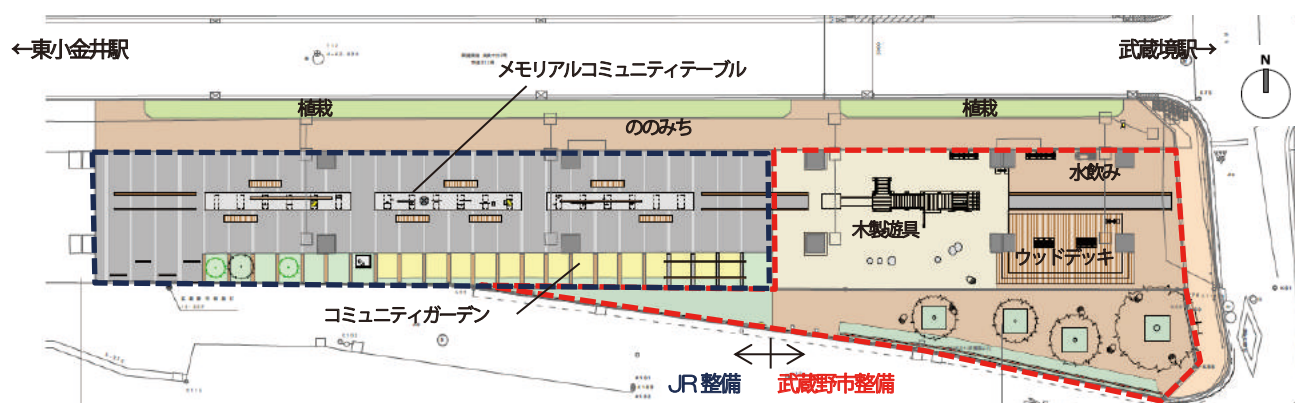
武蔵境駅からの距離 約830メートル 徒歩9分

東小金井駅からの距離 約850メートル 徒歩11分

## (2) 整備内容

- JR 整備 「憩いのひろば」 約 350㎡  
鉄道設備を展示した～メモリアルコミュニティテーブル～、コミュニティガーデン等
- 武蔵野市整備 「遊びのひろば」 約 200㎡ (高架下部分。別途高架外約 140㎡)  
自動車モチーフの木製遊具、ウッドデッキ、どんぐりスツール等

「憩いのひろば」では「メモリアルコミュニティテーブル」の上に高架化前の中央線で使われていたレールや踏切、信号機などを固定し展示いたします。床面にはレールを埋め込み、枕木ピッチの塗装を施します。また、コミュニティガーデンにはコンクリートマクラギの上にレールを実際に敷設して展示します。隣接するふたつのひろばが一体的に利用できるようにし、お子様からお年寄りまで幅広い世代の方が交流し、楽しんでいただける空間となっています。



## 2. 開園イベント概要

実施日：2017年4月16日(日) 11時より (詳細はイベントにより異なります)

内容：「ガーデニング講座」、「ののみちネイチャーハント」、「ミニ新幹線に乗ろう！」  
「新幹線パーパークラフトワークショップ」他、店舗出店(飲食)もあります。

主催：東日本旅客鉄道(株) (株)JR 中央ラインモール 後援：武蔵野市

※イベントの詳細については別途駅ポスター及び nonow ホームページ等で順次お知らせいたします。

